

平成 29 年度 第 1 回 男女平等推進市民会議 会議要録

日 時：平成 29 年 5 月 24 日（水） 18:30～20:00

会 場：庁議室

参加者：名取はにわ会長・斎藤利之副会長・嵯峨洋輔委員・柘植宏実委員
本田純委員・佐賀律子委員・森山義雄委員・師岡範昭委員

事務局：市民部長・生活文化課長・男女共同参画係長・男女共同参画係員・男女平等推進
センターコーディネーター

○議題

- (1) 委嘱書の交付
- (2) 諮問書の交付
- (3) 諮問事項の協議等

・議題 (1) 委嘱書の交付

～市長より委嘱書を交付する。委員が自己紹介を行う～

・議題 (2) 諮問書の交付

～市長より会長へ諮問書を交付する～

・議題 (3) 諮問事項の協議

(東久留米市第 2 次男女平等推進プランの進捗状況評価について)

事務局：初めに、本年度の市民会議の全体のスケジュール案について大まかな部分を説明したい。本年度は諮問事項が 2 点あるので、諮問事項 1 と諮問事項 2 に分けてスケジュールを示させていただきたい。これから諮問事項 1 を先に進め、その後、諮問事項 2 は後半で審議させていただきたい。それでは、諮問事項 1 の第 2 次プランの平成 28 年度事業進捗状況評価について説明をさせていただきたい。全部で 67 の評価表をつくっていただく。平成 27 年度は、市民会議のグループを 3 つに分け、まずグループごとに評価を作成していただいた。事務局で全体をとりまとめ、その後 8～9 月の 2 回の市民会議で答申案、答申文を検討し 10 月 27 日に答申をいただいた。

会 長：今年度も現行計画最後の評価ということになるが、大体、進め方としてはこのような段取りでということか。それではよろしくお願ひしたい。

～基本目標ごとに 3 つのワーキンググループを編成、委員をグループ分けする～

(第3次プランの評価方法について)

事務局：まず、報告と評価表の案を事務局でつくっていく。今回の進捗状況の評価も見ながら、11月をめどに、評価表の案を示すことができればと考えている。その後で、報告と評価表の具体的な部分について内容の確認をしていただく。評価等進めていただく中で、もし報告書、第3次プランにお気づきの点があれば、事務局までお願いしたい。最終的な答申は2月中にいただきたいと考えている。

会長：昨年度のプランを評価している時に、何か気がついたことがあったらということか。

事務局：そうお願いしたい。

(その他)

事務局：男女平等推進センター移転後の現況の報告をさせていただきたい。3月より移転作業を始め、必要なインフラ関連の移設なども進み、4月3日月曜日からは、市庁舎2階の生活文化課に隣接するスペースで運営を滞りなくスタートしている。早速、初日の午前10時より女性の悩み事相談事業があったが、カウンセラーからも、相談者が不安を持つこともなく、問題なく進められたと報告をいただいた。今後も、より利用しやすい空間や事業運営を工夫してまいりたい。また、一般の方が広く利用していただけるスペースとして図書コーナーがあるが、一部整備中であるため、現在、配架できる本の数が限られている。そのため、まずは広く関心を持ってもらえるような読みやすいものから選んで配架しております。これまでに新規利用登録も5名ありました。友人と男女共同参画について勉強してみたいと、参考図書を探しに初めて来られた方もいた。講座については、5月に中央図書館の視聴覚ホールで映画上映を開催した。15名の参加、うち6名がセンター事業に初参加の方であった。これまでも、事業ごとに関連図書リストを配布しているが、今回は図書館の協力により、リストを利用したブックトークも実施した。大変好評で、男女共同参画の視点から上映作を深めていただくことができ、事業効果向上につながるよい連携となった。7月には、市民プラザホールでの講座開催が決まっている。窓口では、担当も積極的に声をかけるよう努めている。本年秋にはスペースの整備が完了予定で、全面オープンに向けて、男女平等推進センター運営協議会などより意見をいただきながら、ハード面、ソフト面ともに利用しやすいセンターづくりを進めてまいりたいと考えている。

委員：大変良いことばかりだが、我々はそういうことを把握しながら改善するべきことを考えていく立場にあるので、現時点で、全てが利用しやすくなっているとは限らないと思うが、何か小さいことでもよいので、抱えている課題などもしあれば教えていただきたい。

事務局：課題として、入りやすさ、入りづらさということがある。直接センターに来る予定ではなかった方は、比較的、今までよりは入りやすい部分もあるかもしれない。一方で以前のセンターを知っている方にとっては、恐らく多少入りづらいとか、イメージとして開かれた感じがしなくなったということもあるかもしれない。場所自体が物理的には明らかに違うので、そこを、また違った部分でいい雰囲気にしていくということが課題になる。

委員：生活文化課の奥に図書コーナーがあるだけで、センターの受付係もない。ただスペースがあるだけのようで、どこからがセンターなのだろうかと感じる。

委員：センターにふらっと入れたということなのか、決め打ちしていった人たちなのかということも興味深いところではある。またセンターの使いやすさでアンケートを実施するのはどうだろうか。

事務局：現時点では、整備途中ということもあるので、その目途がいたら検討したい。

委員：個人的な感覚だが、センターの位置については、旧センターの方がそこにあるなどわかりやすいと思うが、入りやすさという点では、現在の方がむしろ、何かのついでという感じで入りやすいのかなと思う。

事務局：比較ができないところもあると思うが、今まで足を踏み入れなかった方にふらっと立ち寄ってもらえる形にしたいと思っている。今までなかった効果をなるべく発揮できるようには考えたい。

事務局：最終的な工事は秋くらいに終わる予定で、7階に会議室が完成することになっており、そこは男女平等推進センターの行事等で使えるようになります。

会長：コーディネーターからも一言お願いしたい。

事務局：良い面と悪い面があると思うが、大きく環境が変わったということは確かである。生活文化課には他係の職員がおり、隣にはハローワークもある。従来とは異なる新しいアプローチの機会があると感じている。ハローワークには、多くの若い女性、男性が来ている。その中には、再就職の準備や、ワークライフバランスを考えたいという方もいるはずである。そういう方がセンターに来てもらえるようにしたい。また、子育て支援課も同じフロアにあるので、そこを訪れた方がついでにセンターに寄って本を読んだり、交流できたりする場にできればと思う。そのための仕掛けのようなものを今後考えたい。ぜひご意見をいただきたい。

委員：どういうきっかけで来たのか、センターを目指してきたのか、紹介で来たのか、そういうことが今後の評価につながってくると思う。

会長：たしかに、先ほどの話では、初めて来られる方もいるようなので、数が分かってよいのかもしれない。

事務局：もう1点、旧センターだとなかなか庁内のことが分からなかったが、今は隣に人権担当者がいて、日常から人権・男女共同の意見交換ができるというのはとても良いことだと感じる。今回、防災をテーマに大きな事業を行うが、防災防犯課

も同じフロアにいるので、すぐに相談ができる。今までは、市役所は外の施設という感じだったが、連携という面では大きく変わったと感じる。

会長：ほかの市でも、市庁舎内にセンターを持つところも出てきているようだが、ぜひ東久留米のよさを生かして、他のモデルとなるようなセンターにしていけるように、よろしく願いしたい。

○次回会議（ワーキンググループ）

7月（日程調整）